

高速道路建設促進 に関する緊急要望

全国高速自動車道市議会協議会は、別記のとおり高速道路建設促進に関する緊急要望を提出いたしますので、政府並びに国会におかれましては、特段のご配慮を賜りますよう強く要望いたします。

平成22年12月7日

全国高速自動車道市議会協議会
会長 住谷幸伸
(高松市議会議長)

高速自動車国道は、流通や観光などの経済効果によって各地方が個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現するための重要な社会基盤であるとともに、広域救急医療及び災害時の緊急輸送などに資する「命の道」である。

しかしながら、高規格幹線道路網の供用率は依然として6割台に過ぎず、現下の経済情勢及び公共事業政策を取り巻く状況と相まって、地方圏の高速道路建設は更なる遅れが懸念される。

よって、平成23年度政府予算編成に当たり、特に次の事項の実現を強く要望する。

記

1. 高速自動車国道を中心とした高規格幹線道路網の整備は国土建設の要であり、その政策の明確な方向性を示すとともに恒久財源の確保に万全を期すこと。

2. 高速道路の原則無料化については、受益者負担の原則や財源確保のほか、公共交通体系全体への影響、交通渋滞、環境への負荷などを引き続き総合的に勘案し、慎重に対応すること。
3. 地域の自立支援や観光振興などに資するよう、ミッシングリンク（未開通区間）解消のための必要十分な予算を確保すること。
4. 昨年、執行停止を受けた新規整備事業と4車線化事業については、所要の財源を確保のうえ早期に着工すること。
5. 見直しを検討中とされる高速道路の料金制度については、利用者の混乱と不信を招かないよう、その道筋を早期に示すとともに、国土の均衡ある振興・発展を阻害することがないよう、全国一律とすること。